

## 品川区の3商店街に防災行政無線を接続

品川区は、区内にある商店街の放送に防災行政無線を接続する。防災行政無線は、災害時に行政機関が情報収集で使うほか、市区町村において住民に防災情報を伝達する手段となっている。東日本大震災の際も、津波避難の呼びかけに大きな役割を果たした。

しかし、騒音の激しい都内では、防災行政無線が聞こえ難いという苦情が寄せられたということから、品川区では人が多く集まり帰宅困難者が集中する商店街に注目し、既存の放送設備に防災行政無線を接続して、防災情報を多くの人々に伝達する試みに着手した。

平成24年度は、北品川本通り、荏原町、戸越銀座の3商店街に防災行政無線と同一の情報を放送できるように戸別受信機を応用したシステムを設置する。この案件に関して、三愛電子工業株式会社が施工を担当する事になった。北品川本通りは6月に設置が完了しており、荏原町は7月、戸越銀座が8月といったスケジュールで順次設置予定である。

品川区には商店街が108あるが、その内放送設備のある商店街は20程度である。更に、現在放送設備が稼働しているのは10程度であるという。品川区は、東日本大震災を教訓に商店街と協力して広く導入を進めていく方針とのこと。

—以上—



荏原町商店街 街灯スピーカー

荏原町商店街 入口

荏原町商店街 放送設備への戸別受信機を応用した接続システム